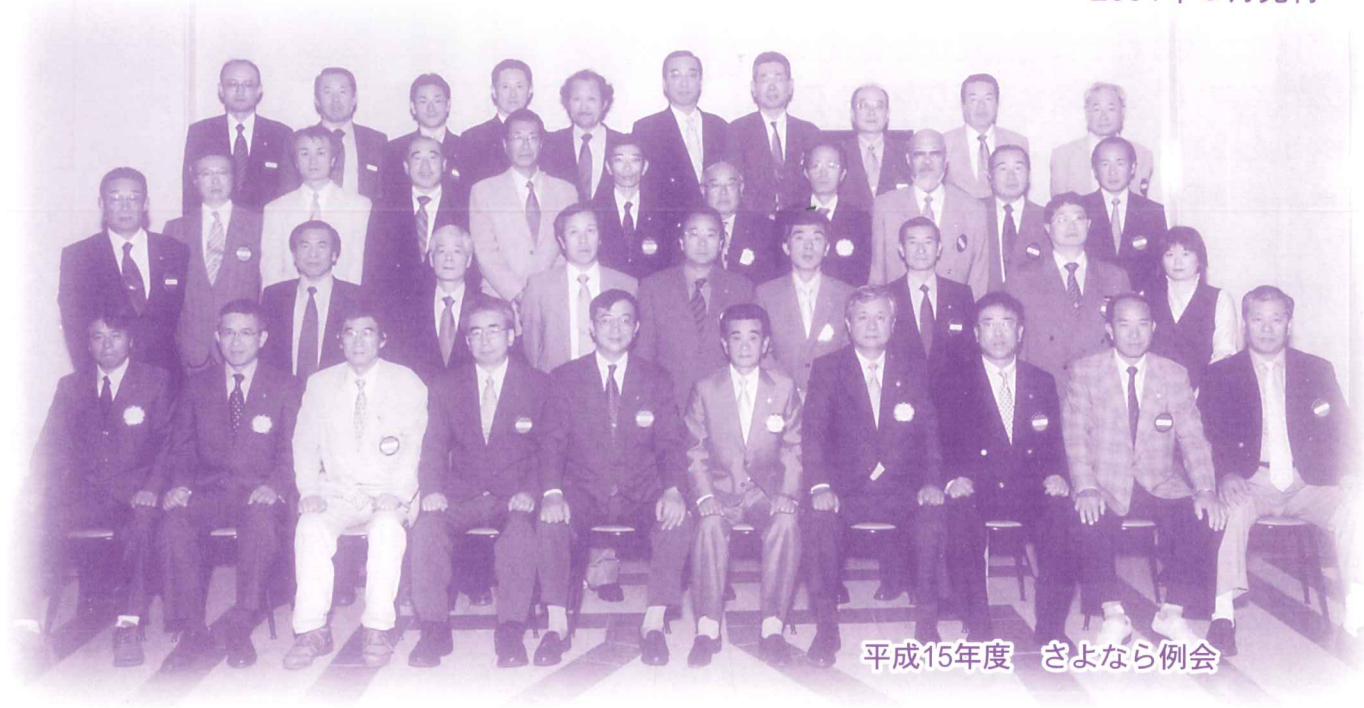


# 明日に向かって

明日に向かって  
多治見陶都ライオンズクラブ  
広 報 誌

Vol.  
19

2004年6月発行



平成15年度 ざよなら例会

## 会長挨拶

2003.7~2004.6 陶都ライオンズクラブ 会長 L.丹 羽 輝 男

### 一年間をふり返って

私が、会長を一年間無事に務めることが出来たのは、有能な幹事に恵まれ、理事、役員の方々そして会員の皆さんにご協力頂いた御陰だと感謝しております。

今年度初めは、会員減少で事業費及び、運営費を圧縮しての予算でスタートしましたが、各委員会において知恵を絞り、計画通りすべて修了することが出来ました。又最後には、会員増ともなり有難く思います。

「ひろげよう相互理解でつなぐ奉仕の輪」のスローガンのもと活動をし、虎溪公園のサクラ再生に昨年同様、2回奉仕事業を行いました。少しずつ再生しているサクラを見て、他団体との協力で息の長い継続が必要だと感じます。

環境作文コンクールでは、中学生の環境に対する認識を持つ生徒が多くなったことに安心しました。

最後の事業で、応急手当普及員の講習会を実施しました。新規の事業の為、どれだけの人が参加してもらえるか心配でしたが、委員会の皆さんのご努力により、17名の方が受講されました。尊い命を救うために役立てればと思います。

力不足の会長でしたが、1年間ご協力をありがとうございました。

新年度会長、伊藤清ライオン1年間頑張って下さい。



## 感謝

思い起こせば、丹羽会長から、「あんたしか考えておらん、はっきり言って、ねらいうちです。」ただ、その一言……。

覚悟を決めて、会長のセクレターとして始めた1年間。大変ありがとうございました。

1年間を通じて、「ウィサーブ」の精神のもとに集まったライオンズの友情。地域に対してのライオンズの存在意義。多くを学ばせていただきました。

会員数の順増のために努力していただいた会員会則委員会。毎回、つきることのないアイデアで楽しませていただいた計画委員会。最後に3日間もの講習会を開催され、立派に地域に足跡を残された保健環境保全委員会。幾度となく続いた会場設営、凝り凝った例会のお弁当を段取りしていただいたライオンテマー。全員参加での虎渓山桜再生。

すべての委員会、すべてのメンバーが確実に1年間を成し遂げていただき、幹事職を何とか終えることができました。感謝の念が絶えません。

ライオンズを周知していない私を指名していただき、指導していただいた丹羽会長ありがとうございました。お疲れ様でした。



## 会計挨拶

## 1年間を振り返って

早いもので、会計をお受けして1年が経ちました。何もしないままの1年でしたが、この1年の間、私にとっては珍しく全ての行事に参加したお陰でライオンズの活動が良く分かり、また、陶都ライオンズクラブの方向性も見えたような気がしました。役を受ける前は、仕事優先で奉仕活動にも今一熱が入らなかったのも事実です。しかし、この一年間で受け身ながらライオンズの意義が少しわかったような気がします。

大嶽幹事と同様、体育会系の乗りで苦々しく感じられた諸兄には、この場を借りてお詫び申し上げます。1年間本当にお世話になり有り難うございました。





2004.7～2005.6  
ライオンズクラブ国際協会  
334-B地区2R3 Z

ZC. 尾 関 恵 一

## Z C 次年度抱負

この度、Z Cをお引き受けすることになりました。わがL.Cの代表として大役だと心得て、その重責を全うしたいと存じます。

現在、L.Cは、会員の減少などにより、非常に厳しい状況に立たされていると存じます。その要因は、経済界の不況などがありますが、L.C中にもその要因があると思われます。

その一つは、マンネリ化ではないかと思えます。毎回同じような例会を繰り返すのでは、例会もつまらないものになってしまいます。全員が出席して楽しかった、為になったと思えるような例会を行うことが大切だと思います。そのためには、出席者のより多くの会員が何らかの形で参加できるような例会にすれば、会員の充実感も達成されるのではないのでしょうか。そんな工夫をしながらクラブのマンネリ化を打破したいと思います。このために、今年は各地区の合同例会を止めて通常の例会に出席させていただき、しかも理事会が行われているとすれば、その理事会にお邪魔する予定にしています。そして、各クラブの良い面を共通のものとしていきたいと思っています。

会員全員がL.Cの会員であることを誇りに思い、楽しみにできるようなクラブにしたいと思っています。

どうか、皆様の絶大なる御協力をお願いします。

## 次年度会長抱負

私にトレーニングのチャンスを下さいました事、会員の皆様に感謝いたします。

とは言えども、本当はとてもプレッシャーが掛かっております。しかし私には、とても「頼り甲斐」のあるL.度會、L.長瀬が両サイドからフォローをしていただけるので内心は「ホッ」としているのが本音です。

いよいよスタートするのですが、実はとてもラッキーな事があって幸せです。それは今までの先輩会長さんがいくつかの事業を企画し、成功されてきました。

それをもう一度勉強し、私なりに継続させて頂ければと思っています。

今年度は愛知万博、中部国際空港の開港、MAGロードの開通、アウトレットモールの開業、花フェスタの開幕などなど。周辺には大きなイベントが目白押しです。そんな環境の中、私たちの街、多治見にも大きな集客が期待されそうです。

特に桜再生事業は、その為にも責任重大な大事業と考えます。きれいな街多治見。緑豊かな街、観光資源豊かな多治見をアピールする絶好のチャンスに、私たちも里山づくり、桜再生事業としてお手伝いしたいと思います。



2004.7～2005.6  
陶都ライオンズクラブ  
会長

L. 伊 藤 清





2004.7~2005.6  
陶都ライオンズクラブ  
幹事

L. 度 會 正 年

先輩会長の敷かれたレールの上を脱線しない様走り続ける事ができれば幸せです。

皆様方の深い御理解と御協力を重ねてお願いいたします。

### 次年度幹事抱負

この度幹事という大役を指名され、お断り出来ぬまま引き受けてしまいましたが、毎日眠れない日々が続いております。こんな私ですが、皆様のご理解とご協力を頂き楽しいクラブ運営が出来ればと思っております。

又、さまざまな継続事業の中で虎溪山桜再生事業は、少し形を変える時期に来ている様に思われます。決して広いとは言えない虎溪公園ではいずれ手詰まりになると思われます。前回多治見ライオンズクラブが植樹をされましたが、一本ずつの間隔が2m足らずだったようで、次期三役セミナーの席で、「多治見ライオンズクラブも継続事業として取り組んで行くが、陶都ライオンズクラブの計画を元に進めて行きたいから良いアイデアをお願いしたい」と言っておられました。

公衆安全委員会の皆様には益々仕事が増えそうですが、桜再生は虎溪山はもとより多治見市全域に向けた事業になればと思います。将来に向けた準備が少しでも出来ればと思っております。今年一年力不足ですが頑張りますので宜しくお願い致します。

### 次年度会計抱負

この度2004年度の会計を務めさせて頂くことになり、6月の次期3役セミナーに出席させて頂きました。

その席上で名誉顧問の方がお話しされました。

『このところの経済情勢の悪化、社会構造の変化、こんな環境の中で各地区クラブの改革が迫られていますが、改革にあたって従来のやり方、伝統、ライオンズ憲章等に囚われず自由な発想でそのクラブにとって最も良いと思われるのであれば思い切ってやる。それが重要ではないでしょうか。』

そしてクラブ運営費で出費している各会費についても何処も苦しい中から支出してしているのだから、そのお金がどのように使われているかもっと関心をもってほしい。又、知恵を使って必要であればそのお金を要求してもいいのではないのでしょうか。』

以上、お話の一部であります。

この考え方は何方も同感されると思います。

この様な今の時世にマッチングした姿勢で我がクラブも発展できたら良いのではないのでしょうか。

私はクラブに入会させて頂いてから6年が経ちましたが、その間クラブ運営やら仕組等についてあまり関心を持たずに過ごしてしまいま



2004.7~2005.6  
陶都ライオンズクラブ  
会計

L. 長 瀬 孝 昭

した。最近になり新年度を迎えるにあたり打ち合わせを重ねる事が多く、その中で理解できない事も多々あり、自分の勉強不足を痛感しました。

そのような事から今後の不安もありますが、皆様よりご指導を頂きながら微力を尽くしてまいります所存です。

1年間務めさせて頂いて何かひとつでもクラブの発展に役にたつことが出来れば幸いです。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



陶都ライオンズクラブ  
L.黒 肱 功 藏

### 新入会員

この度、多治見陶都ライオンズクラブに入会させていただきました黒肱功藏です。

昭和43年申年生まれで、今年36歳。クラブ最年少となります。改めて自己紹介させていただきます。現在、大原町にて自宅兼会社をかまえ、趣味は、野球(土岐商にて、一応甲子園を目指しておりました)、ゴルフ、空手(初段)と、いわゆる体育会系です。

ライオンズクラブ入会につきましては、お誘いがあった当初は、自分のような若輩ものが、はたしてやっていけるのかと入会を迷いましたが、丹羽会長の温かいお言葉に、こんな自分でも何かのお役に立てるのでとは思ひ、入会させていただくことを決意しました。まだまだ、自分に何ができるかわかりませんが、先輩方の足を引っ張らないよう、また、活動を通じて自分自身成長できるよう頑張っていこうと思っておりますので、ご指導下さいます様、皆様よろしくお願ひいたします。

## 平成15年度の行事スナップ







### 編集後記

明日に向かっての発行にあたり原稿をお願いしました皆様に心よりお礼申し上げます。私供PR委員会としてもこれでお役ゴメンとなりました。一年は早いですネ！

次年度「明日に向かって」の表題通り、力を合わせてがんばりましょう。あ〜！。一年終わった、終わった。

